

弊社埼玉センターにて消防訓練を実施

火災・地震など災害は突然やってきます。災害に直面した際、適切にお客さまや自分の身を守るためには普段からの訓練が必要になります。火災は火元になりやすい場所、起こりやすい季節など予防がしやすい災害ですが、発生時には出火場所の確認、初期消火、119番への通報、館内の非常放送、外に出るまでの避難経路の確認、誘導・避難など一つ一つの行動を取れるかが重要になります。

弊社埼玉センターでは、2022年6月13日に2022年度1回目の消防訓練を実施しました。当日は、消防設備会社協力のもと、職員並びに管理委託会社の社員合わせ13名で実施いたしました。

今回の訓練は、2階喫煙室から火災が発生し初期消火ができるレベルという設定です。「ただ今、2階の火災感知器が作動しました・・・」と館内放送により訓練はスタート。通報連絡係・初期消火係が火災受信機より出火エリアを確認、管理人より非常放送が行われ、ただちに初期消火係が出火場所の確認に走り初期消火、通報連絡係は119番通報専用電話機から消防署への通報、避難誘導係は大声を出し、手を振り避難通路への誘導を行いながら駐車場に避難、副隊長に全員の安否を報告して終了となりました。その後、水消火器・消火栓を実際に用いての消火訓練を行いました。

実際の火災では、迅速な火元の特定と初期消火、情報共有を最優先しお客さまの避難誘導が求められます。職員一人一人が「自分達の施設は自分達で守る」意識を持ち、率先して自ら初動対応に当たれるよう今後も訓練を継続してまいります。



■119番通報専用電話機による通報訓練



■非常用放送設備による放送訓練



■水消火器による消火訓練



■消火栓による消火訓練